

天台宗

か

ぶ

さん

じ



神峯山寺 だより

2012年
12月

開山：西暦679年（伝） 本尊：毘沙門天（光仁天皇勅願寺）



お正月1日から10日まで「初詣」のお祭りを行います。破魔矢、福笹、お守りなどの授与があります。なお、除夜の鐘は12月31日午後11時45分より行います。

また、神峯山寺では僧侶が一人ひとりのおみくじの内容を読み上げ、解説してもらえます。昨年は約6千人ぐらいの方のおみくじを僧侶が解説し、皆様の新年の幸せを祈りました。

初詣は神峯山寺へ



初寅会

平成25年1月12日（土）

平成25年の初めての寅の日は1月12日（土）です。本尊／毘沙門天のお力によつて、一年間の無病息災、家内安全、商売繁盛のご利益が頂戴できます。また、午後1時より3時まで神峯山寺修験者による「大護摩」と「火渡り」の神事が行われます。



「火渡り」の火にあたると、一年間無病息災で暮らせるご利益が



《特別大般若祈願申込受付》

初寅会大般若経六百巻の転読法要で、神峯山寺一山僧侶が願い事を二件一件祈願します。希望の方は同封の別紙申込書を返送ください。

問い合わせ…072-688-0788
神峯山寺事務局まで

年頭法話

祈り『拝む』とは

住職 近藤真道



仏様を拝むのは、やさしそうで本当は大変難しいことです。私たちはいろいろな時に、仏様をお願いします。病気全快、商売繁盛、交通安全、恋愛成就、良縁祈願、安産祈願、子授け祈願、息災祈願、合格祈願、それに家内安全、そして厄除け祈願…。私たちの祈りや願いは、数えれば限りがありません。その願いや祈り…それらを仏様にお願いするとき、どんな気持ちで私たちは仏様を拝めば良いのでしょうか。

私の仏道修行の師匠として尊敬している比叡山の堀沢大僧正、その堀沢和尚からは「毘沙門さんを拝め」とずっと言われてきました。私がかつて大動脈乖離になったものの奇跡的に命を頂戴し、そしてその翌年、次女が群馬県のお寺に嫁ぎました。その結婚式披露宴の主賓として来てくださった堀沢和尚と再会したとき、その宴の最終にわざわざ私たち親族がいる最下座に、最上座の自分の主賓の席を立て、自ら足を運んで下さいました。そして私を指差し「おい、近藤君！ 死ぬな！」そして

「毘沙門さんを拝め！」と大きな声で言われ、私の手を力一杯握ってくださいました。

この和尚が仰った『毘沙門さんを拝め』の本当の意味が、なかなか分かりませんでした。しかしやっと、最近になって、ちよつとその意味が分かりはじめています。

『毘沙門さんを拝む』『仏を拝む』。それは、拝むとき、我が身を全部毘沙門さんに捧げるということです。我が身全部を仏様、毘沙門さんに投げ入れてしまう。それが『拝む』ということではないか、そう思えるようになってきました。私たちの命は、自分ではどうしようもできないものです。人間にとって一番大切なもの、『命』。それは私自身、あなた自身が握っているものではありません。私以外の何者か、その何者かが人間の、私の、あなたの命を握っているのです。すなわち私たちは『生きている』のではなく『生かされている』のです。そして、その私たちを生かしている存在、それこそが大宇宙の命『仏様』です。

私たちが仏様を拝むとき、『私が』とか『己が』とかがあつてはいけません。己を捨てて拝む。これが本当の仏様の拝み方です。そして、己を捨てて我が身をすべて仏の彼方に、毘沙門さんの彼方に全身全霊を投げ入れて拝むとき、毘沙門さんはあなたに大なる功德を与えてくださいます。それは、生きることに死ぬことをも超えた仏の知恵を授けてくださるのです。

皆さん、毘沙門さんを拝みましょう。そうすれば素晴らしい平成25年がやってきます。たとえ、我が命尽きても、です。

く222年の時空を超えてく

化城院けじょういん復興

毘沙門不動護摩

千日連続護摩修行満行

化城院復興開眼落慶大法要

『連続千日毘沙門不動護摩』の千日目の修行達成日にあたる平成25年11月23日、その修行満行を祝い、かつ、化城院復興を祝して、落慶大法要をおこないます。

かつて江戸時代、神峯山寺の塔中寺院、勝林院しょうりんいん（現在は無し）が当時の神峯山寺全山執事として比叡山延暦寺に提出した書類に、かつての神峯山寺の所々の建物・お堂・寺院の記録が残されています。その中に、この度復興することになった『化城院けじょういん』が明記されています。その書類の年月

日は寛政3年（西暦1791年）、今からかぞえて221年前のものです。その化城院を、平成25年11月に、222年の時を超えて再建、落慶法要を行います。

化城院の大きさは六軒四面、約12 m四面、高さは約10 m、国産総ヒノキ、柱角は一尺角（33 cm）を基本としたお堂です。規模は現



化城院完成イメージ



落慶大法要を行う満行日に向けて、若い僧侶たちが毎日修行に励む

在の神峯山寺本堂より内部は少し広く、また内陣が外陣より1・3 m下がった延暦寺根本中堂様式です。ご本尊は、不動明王、脇に毘沙門天と大黒天をお祀りする「毘沙門不動護摩中心道場」です。

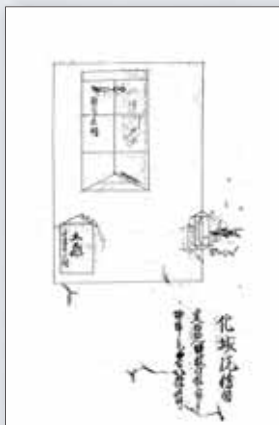
材木は昨年のうちにすべて切り出し、現在は倉庫で乾燥させています。そして平成25年1月中旬より本格的な工事が始まります。完成予定は平成25年（2013年）

11月23日。その日に、落慶大法要を執り行います。当日は、日本仏教界最高位・天台座主であられる半田孝淳探題大僧正猊下がお越しになり、直々にご本尊落慶開眼法要を厳修していただきます。

また、大法要には延暦寺叡南覚範探題大僧正・現毘沙門堂御門主、延暦寺堀沢祖門

大僧正、延暦寺梅山竜圓大僧正、インド禅定林サンガトナ・法天住職、全インド仏教界会長サダナシタ大僧正、そしてタイ国仏教界代表など、東西仏教界の重鎮が列席の予定です。

また、ご本尊足下に願ひ事を一般の方々に書いて奉納していただくなどの記念事業も開催されます（同封の祈願札奉納先予定案内を参照ください）。詳細はおつてご連絡いたします。



221年前に存在していた『化城院』を証明する書類が現存。
比叡山へ提出した記録にはその規模や配置が細かに記されている

神峯山寺修験根本道場 復活

神峯山寺は平安時代より、葛城山、伊吹山、比叡山などの日本仏教の中心地「七高山」の一つとして広辞苑にも記載される整地です。役の行者（えんのぎょうじゃ）を起源とする日本修験道の行者の修行場でもありました。神峯山寺では毎年、初めての寅（トラ）の日に修験の修行者様が大護摩を厳修^{ごんしゅう}、すなわち焚かれます。この行事には毎年多くの参拝者が来山されます。平成24年3月より、修験者の人々によって神峯山の峯々を歩き修行をする「神峯山寺修験根本道場」が本格的に復興されました。ほぼ毎週5〜10名の修験者が「行」をされています。そして神峯山寺の峯々におられる仏様を拝みながら山を歩くその「行」に、一般の方も参加できるよ



うになっており、毎週たくさんの方が参加されています。夏には滝に打たれて（許可を得た修行者のみ）、現在行われている「毘沙門不動千日連続護摩法要」にも修行僧とともに参加。また、修験の方の専用の本坊「神峯山寺眞珠院本坊」も平成24年12月には完成します。新年からは、これから修験の方々は地元・原村をはじめ高槻市内も行脚されます。どなたでも参加できますので、興味のある方は神峯山寺までお尋ねください。

平成25年 神峯山寺の行事予定

お正月「初詣」	元旦～10日(木)まで
初寅会・大護摩	1月12日(土)
春期彼岸法要	3月20日(水・祝)
永代供養者法要	3月20日(水・祝)
宇賀神・龍神護摩法要	7月14日(日)
家族といっしょの「お盆まいり」	8月10日(土)～15日(木)
施餓鬼法要	8月23日(金)
秋季彼岸墓地回向	9月21日(土)・22日(日)
秋彼岸篤信者永代供養者特別回向法要	9月21日(土)
秋季大般若転読祈願法要	9月21日(土)
毘沙門不動護摩連続1千日満行	11月23日(土)
化城院落慶法要	11月22日(金)～24日(日)
天台座主来山化城院開眼法要	11月23日(土)

平成25年度 年忌早見表

平成25年度は下記年度の方々の年忌です。
できるだけ早く、お寺と日程を調整してください。

回 忌	死 亡 年
一 周 忌	平成24年(2012年)
三 回 忌	平成23年(2011年)
七 回 忌	平成19年(2007年)
十三回忌	平成13年(2001年)
十七回忌	平成 9年(1997年)
二十三回忌	平成 3年(1991年)
二十五回忌	平成元年(1989年)
二十七回忌	昭和62年(1987年)
三十三回忌	昭和56年(1981年)
五十回忌	昭和39年(1964年)

平成25年度厄年

女性

《前厄》

昭和29年生まれ(60歳)
昭和53年生まれ(36歳)
昭和57年生まれ(32歳)
平成8年生まれ(18歳)

《本厄》

昭和28年生まれ(61歳)
昭和52年生まれ(37歳)
昭和56年生まれ(33歳)
平成7年生まれ(19歳)

《後厄》

昭和27年生まれ(62歳)
昭和51年生まれ(38歳)
昭和55年生まれ(34歳)
平成6年生まれ(20歳)

男性

《前厄》

昭和29年生まれ(60歳)
昭和48年生まれ(41歳)
平成2年生まれ(24歳)

《本厄》

昭和28年生まれ(61歳)
昭和47年生まれ(42歳)
平成元年生まれ(25歳)

《後厄》

昭和27年生まれ(62歳)
昭和46年生まれ(43歳)
昭和63年生まれ(26歳)

初詣

たか つき やく よけ び しゃ もん
高槻厄除毘沙門
か ぶ さん じ
神峯山寺

千日間の護摩修行、平成 25 年元日から満行まで 327 日

命を授け、命を護る 毘沙門天。

良縁招来
病氣平癒
子授成就

神峯山寺
かぶさんじ
日本最初毘沙門天

日本最初毘沙門天
根本山 神峯山寺 寶塔院
〒569-1051 大阪府高槻市原3301-1
TEL 072-688-0788
FAX 072-680-2133
HP <http://www.kabusan.or.jp>
拝観時間 9:00~17:00(冬季は16:00まで)

バスでお越しの方

JR 高槻駅北口ロータリーより
市バス「原大橋」行きで約 20 分。
「神峯山口」下車、東へ徒歩約 1.3km。

タクシーでお越しの方

JR 高槻駅より 8 km、約 20 分。
阪急高槻市駅より、8.5km、約 25 分。

